

第7期 高齢者福祉計画 介護保険事業計画（案）に対するパブリックコメント(意見募集)の実施結果について

NO.	ページ	いただいた意見	町の対応
1	5 2	「公共交通機関での外出に対する支援を」行う。となっていますが、公共交通機関が行き届いていない地域に対する対応が不明確です。高齢者対応だけでなく、葉山町全体の交通計画に立案が求められます。	公共交通機関が行き届いていない地域に対する対応については、本計画書P. 7 6において訪問型サービスDでの外出支援として記載しています。 また、葉山町全体の交通計画については、現段階で策定の予定はありませんが、交通環境の向上に向けて周辺自治体、事業者との連携、協力により対応していきます。
2		「日常生活圏域を2圏域と」することは当然のことながら、それぞれの「地域包括支援センター」の充実について明確になっていません。	地域包括支援センターについては第7計画期間中に事業者の公募をした上で増設し、機能の充実を行ってまいります。
3	8 5	『認知症ケアパス』を町移民全体に普及」と述べていますが、役場庁舎内での受講者が200人からいる職員のうち35人という現状の改善が求められます。認知症になっても自由に歩けるまちづくりが求められます。	認知症サポーターについては、第7期計画期間中も養成講座を開催することで役場職員とともに町民の認知症への理解を広げてまいります。
4	1 2 3	財政上と事業者参加がないことを理由に「第7期計画期間中は特別養護老人ホームの整備は見送り」「必要と判断すれば第8期以降」に検討するとしていますが、第6期計画での「特別養護老人ホームの整備」は失敗だったのか、そのことを厳密に総括しなければ「第8期以降」も同じ失敗をすることになります。何より、利用者の立場に寄り添った計画ではありません。また、「町内事業者に町民優先の入所を要望」とありますが、具体的に待機者の何割を受け入れてもらえるのかも示さなければ、施設整備を取りやめた次善策とはなりえません。	第6期計画における地域密着型介護老人福祉施設の整備については、計画策定時の状況において適切なものであったものの、社会環境や介護報酬の改定や経済情勢等により整備がなされない結果となりました。 第7期計画においては、社会環境や介護報酬の改定、経済情勢等に大幅な改善が見込まれないこと、また町民の健康状態が全体的に良好に維持されている等の要因から入所待機者の減少につながっていることを総合的に判断した上で特養整備を見送ることとしました。 計画策定後のPDCAサイクルを行う中で、当初適切な判断で計画立てされたものをその計画期間中の状況を勘案して修正していくことは失敗とは言い切れないと考えます。 なお、町内事業者に町民優先の入所を要望していくことについては、特養入所に対する公平性の観点から事業者に対し義務付けできないものであり、何割受け入れを目指すという明確な数値は記載できないと考えます。
5		計画案の前段にあるアンケート調査結果内のグラフや数値が非常に見辛い。PDF掲載であれば、カラーで判り易く、解像度にも気を配って欲しいと思いました。	大変申し訳ございませんが、計画策定における契約事業者との契約上白黒となっております。
6		基本的には、第6期の事業計画の振り返りと、アンケート調査の結果を踏まえ、的確に課題抽出等出来ていると思います。後は、各目標で掲げた具体的な事業プランと実現に向けた本気度だと思えますが… 例えば、目標1の元気なお年寄りで居てもらう為に、高齢者が活躍できる場所を作ること必要だと思います。 更に、目標2, 3と連動する部分ですが、富山県からスタートした富山式地域包括ケアシステムのような「葉山モデル」を構築して欲しいと思います。	第7期計画期間中に第2層協議体を設置し、住民や介護保険事業所等と協働して「葉山モデル」を構築してまいりたいと考えています。

NO.	ページ	いただいた意見	町の対応
7		また高齢者福祉の対策は、介護や見守りだけでなく、積極的な住み易いまちづくりも必要となると思います。コミュニティバス、買い物難民のケア、舗道整備など、縦割りの事業計画を取っ払った、横の繋がりをもった計画も是非検討して頂ければと思います。	本計画書P. 14に記載のとおり、地域包括ケアシステムを構築するため庁内関係部署との連携を図ってまいります。
8		全体的に読点「、」の打ち方が甘く、長くて読みづらい文章が多々あるので、再度チェックして欲しい（自分でも付けてみています）	再度チェックを行います。
9		数字の字体がバラバラで統一感がない（例4P：老人福祉法第20条）また、何か所の「か」が「箇」のところもあり、全体として統一標記すべき。	全体として統一します。
10	13P他	障害という記載が散見されるが、「障がい」に変更すべき。	当町障害者福祉計画に記載のとおり、「障害」という表現で統一しています。
11	115	高齢化率には注釈を入れるべき。一般的な高齢化率と混同を防ぐため。	注釈を入れます。
12	3	4段目最後 進化・推進⇒推進し、時代に即して進化させていくに変更。	変更します。
13	3	最後の一文は全文削除で良いと考える「皆様～お願いいたします。」	削除します。
14	14	幸せな笑顔という表現がしっくりこない。「幸せに、笑顔で」ではないか。同様な表記が51Pにもあるので、変更を願うところです。	変更します。
15	20	地域密着型通所介護に移行されたためです。の後ろに（次頁参照）を追記した方がわかりやすい。また給付費全体を通して、増減の主な理由や要因を詳しく記載すべきと考える。	追記するとともに、増減の理由や要因について考えられるものを記載します。
16	78	熊本地震⇒東日本大震災等の巨大地震や集中豪雨による風水害等に変更。	変更します。
17	127	「むやみな」を削除。必要のない表現である。	削除します。
18	130	事業評価の仕組みには、PDCAサイクルをどのように、どこの機関で、いつ行うかなど、図などのデータを挿入するとわかりやすい。	分かりやすい表記をします。
19	64 65	各種事業の目標値が消極的ではないか。3年間変更なしでは、取り組みへの力の入れようが数字からは判断できない。	委託事業の上限定員を記載したものであり、これ以上の増員はできません。
20	75	貯筋運動の目標値が「延べ参加人数」になっているが、「実施団体」の間違えではないか。またその数字は町内会・自治会単位での数値か。	「実施団体」に修正します。 なお数値は町内会・自治会を含む実施団体の単位です。
21	79	単位老人クラブの目標値を維持するための、具体的な手立てを講じる必要があると思うが、取り組みの方向の文章に追記すべきと考える。	取組の方向性について追記します。
22	89	4)・5)・6) に数値目標を設定すべきと考える。	数値目標を設定します。

NO.	ページ	いただいた意見	町の対応
23	94	6) に実績値（利用者数）と目標値の設定をすべきと考える。	実績値（利用者数）と目標値を記載します。
24		地域包括センターの増設をいつまでに、どこにするのか明記する必要がある。	地域包括支援センターは第7期計画期間中に事業者を公募することから、設置場所については、木古庭・上山口・下山口・一色地区での設置と記載したものであり、それ以上にどこにするのかは明記できません。